

令和元年度 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校（附属中） 【自己評価表】

◀ 4段階評価 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する ▶

教育目標 1 知徳体の調和のとれた人材の育成を目指す。 2 校訓を具現化し、21世紀を担う人材の育成を目指す。									
重点目標	評価項目	計画（PLAN）		実践（DO）	評価（CHECK）		改善（ACTION）	学校関係者評価委員	
		重点努力目標（評価指標）	数値目標	方策・手立て	学校自己評価	総合	結果の考察・改善	評価	評価コメント （評価できる点、改善してほしい点）
規律ある行動と学習習慣の定着	生徒一人一人の学力を最大限に伸ばし、進路実現を図る。	① 教師が授業力を磨く。 ② キャリア教育を充実させる。 ③ 学習習慣を確立させる。 ④ 学力に応じた個別指導、補充指導を充実させる。 ⑤ 読書活動を推進する。 ⑥ 学力検討会を充実させる。 ⑦ 生徒の探究力を育成する。	① 授業評価が、3.5以上になるようにする。 ② 大学探訪（2年生2回）、企業探訪（2年生1回）、職場体験学習を実施する。 ③ 週あたりの宅習時間を1、2年1080分以上、3年1200分以上（部活動引退後1500分以上）にする。 ④ SETの時間を週あたり1時間確保する。 ⑤ 生徒全員が1ヶ月あたり5冊以上読む。 ⑥ テストごとに学力検討会を実施する。 ⑦ 自然科学探究を充実させ、校外のコンクールなどに出展する。	① 積極的な授業改善に努める。指導助言を受ける場を設定する。 ② 総合的な学習の時間（キャリア探究）を充実させる。 ③ 家庭学習の習慣化を図るために、定期的に宅習時間調査を実施し、意識の高揚を図る。 ④ 中学校企画会において、諸検査結果の分析を行い、個別指導の充実を行う。 ⑤ 思索の時間の在り方を工夫する。 ⑥ 学力検討会を設定すると共に焦点化を図った内容で実施する ⑦ 夏休み終盤を締切とし、コンクールに出せるように支援する。	3.3	3.3	① 義務教育課の訪問により全教科で研究授業を実施し、良い評価を受けた。 ② キャリア教育関係の行事がねらいを踏まえた上で、すべて計画通りに実施できた。 ③ 宅習時間調査を定期的実施することで生徒の意識付けができ、目標の週あたり平均20時間以上の取組が多くみられた。 ④ SETの時間や長期休業のセミナーを活用し、個別指導の充実を図り対応した。 ⑤ 思索の時間は確保することができた。 ⑥ 企画会の中で学力検討会をもち、生徒の成績について共通理解を図ることができた。 ⑦ サイエンスコンクールでは、入賞までには至らなかった。振り返りを行い、次年度に生かす。	3.9	○ 幅広いキャリア教育を全学年でさらに充実させてほしい。 ○ 生徒の意識自体、高いものがあると考えます。市内での生徒の様子を見ていると、交通ルールをよく守り、友達を騒いだりすることなく通行しています。 ○ 授業評価が良い評価であったことが良い。 ○ 教師が授業力を磨くにおいてはの取組は大いに評価したい。 ○ 生徒の週平均学習時間が20時間以上という結果は、先生方の指導と生徒の努力の結果であり素晴らしい。
	豊かな心を育む。	① 職員の共通理解と共通実践を図る。 ② 挨拶を励行し規律を守る、素直で、さわやかな生徒を育てる。 ③ 自主性・積極性のある生徒を育てる。 ④ 環境美化意識の高揚を図る。 ⑤ 道徳教育、人権教育、特別支援教育、教育相談を充実させる。	① 中学校企画会議で月に2回以上生徒の情報交換を行う。 ② 生徒全員が気持ちのいいあいさつができる。 ③ 生徒企画の清泉会集会を学期に1回以上実施する。 ④ 学期1回、清掃徹底週間を設定する。 ⑤ 道徳の時間を年間35時間確保する。教育相談は学期に1回全生徒対象で実施する。	① 職員による共通理解、共通実践を推進し、効果的な指導が行えるよう組織化を図る。 ② 挨拶やマナー向上を図ることができるよう、外部から講師を招くなど工夫する。 ③ 生徒会（清泉会）活動をとって、生徒の自主性や主体性が育つよう工夫する。 ④ 清掃徹底週間を設定し、清掃に対する意識を高める。 ⑤ 道徳指導の充実を図る。また、教育相談も充実させ、生徒一人ひとりの理解を深める。	3.2	3.3	① 学習面と生活面を中心に、定期的に職員の共通理解を図ることができた。 ② 講師のマナー指導は、効果的であった。持続するよう手立てを講ずる。 ③ 清泉会集会は、生徒が主体的に活動する場となっている。より生徒が輝く場になるよう工夫していく。 ④ 概ね良好だが、清掃することの意義や学びについて啓発を図っていく。 ⑤ 特別な支援を要する生徒についての研修や教育相談の時間を計ることができた。	3.5	○ 改善にさらなる努力をしてほしい。 ○ 少人数（40人）の方が意思疎通を図りやすいと感じます。 ○ 学校や部活動などで会うと気持ちのよいあいさつをしてくれる生徒が多い。 ○ 講師を招いてのマナー指導が効果的であったのは評価したい。それを持続・向上させる指導を継続してほしい。
	文武連道を推進する。	① 学校行事へ積極的に参加させる。 ② 生徒会活動を活性化させる。 ③ 部活動を充実させる。	① 生徒全員が、一人一役で主体的に学校行事へ参加する。 ② 清泉会集会を学期1度以上開催する。 ③ 部活動加入率を90パーセント以上にする。	① 行事の目的を生徒に理解させ、事前指導・事後指導を行う。 ② 話し合い活動の場を設定し、生徒自身に考えさせる。 ③ 部活動の意義を生徒に話し、加入を勧める。	3.4	3.4	① 行事实施計画に、事前指導・事後指導の項目を入れ意識して指導に当たった。 ② 清泉会集会の実施前に、話し合う時間を設け、生徒主体の企画を充実させられた。 ③ 部活動加入率は84%で、昨年より下がった。それぞれの生徒が意欲的に活動に取り組んでいる。校外で活動している生徒もいる。	3.3	○ 限られた数の部活動の中での加入率84%は良すぎると思われる。 ○ 少人数に慣れることなく、全体を見る力が必要だと思われます。 ○ 保護者に対しても部活動の意義を周知すると良い。 ○ 資料写真より生徒の様々な活動がわかり評価できる。先輩から後輩に教えるシステムが素晴らしい。学年を越えてのつながりは貴重な経験である。
	広報活動を充実させる。	① 学校説明会等の工夫・改善を図る。 ② ホームページ、広報誌、パンフレット等を充実させる。 ③ 積極的に小学校を訪問する。	① 学校説明会の内容を参加者の90%以上がよいと答えるように充実を図る。 ② ホームページの内容を2週間に1度はチェックする。 ③ 北諸県地区内のすべての小学校を訪問する。西諸県地区については、要望に応じて訪問する。	① 生徒が主体となって行う、学校説明会の在り方を追求する。 ② 学校行事等において、写真等の画像を記録として残し、ホームページやパンフレットで活用を図る。 ③ 訪問先を中学校職員で分担し、訪問を夏季休業中で調整する。	3.4	3.4	① 学校説明会では、生徒の発表等充実し、参加者の理解度・満足度は100%だった。 ② ホームページ等の更新（チェック）を定期的に行ったことで、 ③ 北諸県地区、西諸県地区の小学校を分担して訪問することができた。	3.4	○ さらなる努力に期待します。 ○ 学校説明会の理解度・満足度100%は素晴らしい。 ○ 学校説明会での生徒達も頑張って素晴らしいものになっている。 ○ HPなどでのPRは、低学年にも伝わって附属中への興味や関心が高まるとよい。